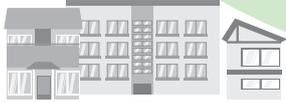


伊藤勝巳議員



日本一金魚の養殖産地を 継承するためのPRの方法は

問

PR方法と方針について聞く。

(1) 東名阪弥富インター入り口に金魚のPR看板の設置をしてほしいと生産者からの要望があるが、考えているか、設置の場合の時期は。

(2) 伊勢湾岸自動車道鍋田インター入り口についても若い後継者からPRの看板設置の要望があるが、考えているか、設置の場合の時期は。

(3) 今後のPR方針について市の考えはどうか。

PR看板の設置は 25年度に予定

答 商工観光課長

(1) 東名阪弥富インター

の出口に25年度(市と市観光協会で)設置を予定している。

(2) 伊勢湾岸自動車道鍋田インター入り口については、設置計画の予定は考えていない。

(3) 弥富金魚漁業協同組合連携のもと、中部国際空港出発ロビーにて弥富金魚の展示、夏には金魚すくい大会、秋には海南こどもの国にて金魚日本一大会を開催し、これらの催しにより国内外にPR発信している。

また、市民に広く愛され、市内はもとより全国へ向けて弥富市をPRするためのきんちゃんグッズを使い、イベントなどを通じてPRしていく。

答 市長

市として、さまざまな金

魚に対するPR活動をしていくという前提のなか、組合も先進市町の例を研修に出かけるなど、地場産業を守っていくという組合独自の働きがある。市としてこれからも協力をしていく。

向陽通線と国道 1号線の接続は

問

道路について聞く。

(1) 向陽通線は、国道1号への接続について早期開通が要望されている。

早期開通に向け、地権者との交渉は、いつごろ何回話し合いをしたのか。

(2) 開通は、何年、いつごろの完成を予定で進めているか。

地権者の理解を得 早期開通を目指す

答 都市計画課長

(1) 19年度に国道工事事務所と取りつけ部分箇所の協

議が調い、改めて地権者の了承、20年度に計画変更に伴う用地測量を実施し、その後、22年度に建物などの物件調査を実施した。地権者との話し合いは、20年度以降、それぞれの地権者では異なるが、それぞれ数回行っている。

(2) 市側が一方的にこの時期ということ、答えられない。



◀向陽通線風景